

平成29年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表

学校教育目標	中・長期的目標
一 質実・剛健	○ 農業や関連産業の振興はもとより、地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 ○ 農業の持つ教育力を最大限活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。
	重点目標
一 誠実・堪能	1 環境教育等農業高校の特徴を生かした新たな取り組みの実践。 2 生徒の可能性を広げる学習の実践。 3 地域社会に貢献し、信頼される学校づくりの実践。
一 積極・真摯	4 本校の良き伝統・慣習を継承した教育活動の実践。 5 あらゆる教育場面での安全教育の実践。 6 互いを尊重する心を育て、健全で充実した高校生活を送るための環境づくりの実践。

評価項目	評価の観点
農業教育を充実させるための取り組み	・ 農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。 ・ グローカル・アグリハイスクール宣言の5つのミッション、10の具体的実践について新たな取り組みができたか。
資格取得を充実するための取り組み	・ 生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒ひとり一人が二種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。 ・ 時間外の講習会や長期休業中の補習を充実させ、合格率8割を目指すと共に、生徒にとって満足いく成果が得られたか。
学習意欲を向上させるための取り組み	・ 生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、授業内容を工夫し実践することができたか。 ・ 生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。 また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。 ・ 年間を通して曜日のバランスを考え、授業時間数を確保することができたか。
進路希望を実現させるための取り組み	・ 本校の生徒の実態に合った計画的指導ができたか。 ・ 進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分かつ的確にできたか。 ・ 進学希望者に対する教科補習が十分できたか。 ・ 生徒が希望する進路を実現することができたか。
地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み	・ 生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。 ・ 地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。 ・ 実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。
基本的生活習慣を確立するための取り組み	・ 「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。 ・ 問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。 ・ 集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。 ・ 気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。 ・ 校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。 ・ 時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。 ・ いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。
課外活動を充実するための取り組み	・ 多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。 ・ 個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。
安全教育を推進するための取り組み	・ 安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。 ・ あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。